

1 主題名 北川さんの生き方に学ぶ

2 ねらい

- 北川さんの生き方を知り、人生における北川さんの選択や決断をしたときの気持ちを考えることを通して、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げようとする態度を養う。 【1-(2) 勤勉努力】

段階	学習活動 主な発問と予想される反応	指導上の留意点、評価【評価方法】		資料・準備
		指導者	外部人材	
導入 (8分)	1 将来の夢について発表する。 将来の夢がありますか。 - パティシエ - 学校の先生 2 北川さんについて知る。 ○ 北川さんの経歴	○ 数人に将来の夢について発表させることで、北川さんが夢に対してあきらめずに努力した生き方へ方向づけをする。	 ○ 自己紹介をしてもらう。	プロジェクタースクリーン 世界地図
展開前段 (27分)	3 北川さんの生き方について話し合う。 - 行きたい大学だったのにつらいことがあるのかな。 - 立ち直ってすごい。 夢とは関係ない仕事に就いたときどんな気持ちだったんだろう。 - いつかは外国の仕事がしたい。 - せっかく就職できたから頑張ろう。 ★ネパールでつらいことばかりだったときどんな気持ちだったんだろう。 - せっかくかなった夢だからあきらめたくない。 - 日本に帰りたい。 - 来なければよかった。	どうして大学時代に落ち込んだのですか。 ○ 北川さんの話に質問をすることで、児童に北川さんの生き方や価値観に触れさせる。 どんな気持ちで3年間働いたのですか。 どうしてつらいことが多かったのに満足しているのですか。	○ 小学生から大学生までの人生について話してもらう。  ○ 仕事をやめる決断をしたときの話をしてもらう。 ○ ネパールでの生活について話してもらう。 ○ なぜつらいことを乗り越えられたのか話してもらう。 ○ ネパールで得たものについて話してもらう。	人生満足曲線のワークシート
展開後段 (5分)	4 つらいことでもあきらめずに乗り越えた経験について振り返る。	○ つらいことを乗り越えようとしていなかったことに気付かせる。 	自分でやろうと決めたことは粘り強くやろうとする気持ちを高めることができた。 【ワークシート、観察、発言】	ワークシート
終末 (5分)	5 北川さんのメッセージを聞く。		○ これまでの経験から子ども達に伝えたいことを話してもらう。	

3 その他

- 通信で保護者にも知らせ、家庭でもお手伝い等を継続して行ってもらう。
- 学級活動の時間に頑張りたいことについて話し合う。

4 板書計画

スクリーン
ネパールでの生活の様子



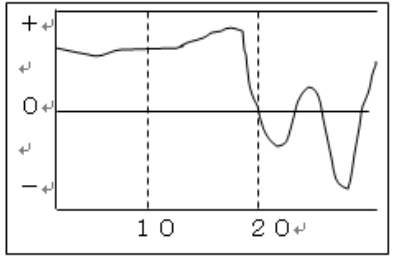
自分で決めたことを最後まで頑張りたい！

ネパールでつらいことはかりだったとき

- ・ せっかくなかったゆめだからあきらめたくない。
- ・ 日本に帰りたい。
- ・ ネパールに來なければよかった。

ゆめとは関係ない仕事について

- ・ いつかは外国で働きたい。
- ・ せっかく就職できたから頑張ろう。
- ・ やめたいな。
- ・ ゆめはあきらめよう。

北川さんの生き方から学ぶ

平成27年6月24日

北川さんのお話を聞いて

4年2組名前（

北川さんへ

この前はありがとうございました。北川さんのじきうは、とても楽しくとても分かりやすくそしてとてもおもしろかったです。私は心に残った事が1つあります。それは、北川さんがゆめに「関係ない仕事について」の話をした時の話です。会社に入れたからいいけど私はこれじゃゆめに関係ない仕事だな。とそのころの北川さんの声が聞こえてくるようでした。でも、ずっと念願のゆめがかなってネパールへ行けるようになったときはすごくうれしかったです。入社しないかなと思いました。最後にこれから自分はもうどうしたいかを書きます。北川さんのじきうを受けてから、1つこれを伝えたかた人じゃないかなと思う事があります。それは夢をあきらめない事だと思っています。だから私もこれになりたい!!という夢をあきらめないでこの夢を叶えたいと思います。この前はありがとうございました。いい勉強強になつたと思います。

平成27年6月24日

北川さんのお話を聞いて

4年2組名前（

北川さんへ

この前はありがとうございました。わたしは、北川さんが仕事をやめてネパールに行、たのに「つらいことばかりだ、でも「つらいことをのりこえて楽しい毎日」をすごせたことが一番心に残りました。その理由は、わたしはバレーボールを習っていてまわりの人が自分よりもとてもうまくてやめたいと思いました。でも、北川さんは、わたしよりずっと「つら」いのに、その「つらさ」をのりこえたからです。北川さんの話を聞いて、夢をおいつづけ、夢がかなること、つらくても今できることをし、かりやればその「つらさ」をのりきれることなどいろいろなことを教えてくれました。わたしも北川さんのように、かり夢をおいつづけて、つらいことがあっても今、自分にできることをし、かりとやっていける人になりたいです。

○ 研究協議会

1 課題と改善策

課題	改善策
(1) 事前 ① 事前打ち合わせ ・ 打ち合わせの時間・内容が大変そう。 ② 事前準備 ③ 言葉の意味やテーマ・共感の難しさ ・ 大学・就職・挫折等 ・ 4年生に、北川さんの気持ちに寄り添うのは難しかった。 ④ 身に付けさせたい5つの力との兼ね合い	○ 担当が目指すものを外部講師に確実に伝える。 ○ 学級の実態を受けて、授業でねらいたいことを焦点化し、授業計画を立てる。 ○ ねらいは「夢に向かって頑張ったこと」では？ ○ 事前準備の必要性 ・ アンケートで本時に関わる実態を把握する。 ・ 本時で使う難しい言葉を前もって教えておく。 ○ 4年生の内容とネパールとのつながりを明確に。
(2) 授業 ① 授業展開 ・ 導入で将来の夢から入った理由。 ・ 4年生には情報量が多すぎたのでは。 ・ 児童が反応をする場が少ない。 ・ 時間がかかりすぎた。話される時間は決まっていたのか。 ・ 4年生に、北川さんの気持ちに寄り添うのは難しかった。 ・ 仕事のイメージがしやすかったか。 ・ 気持ちを共感する難しさ。 辞める時の葛藤や「あきらめない。」「乗り越える。」など ・ 余韻が残る説話がほしい。 ・ ワークシートに入るまでの時間が長い。 ・ 終末段階が人物評に偏っていた。 ・ 自己を振り返る時間 「どうして?」「これから・・・」という発問が最後にあると良かった。 ・ 「やりたい仕事以外は辞めてもいい。」という安易な考えになりそうでは？ ② 発問の在り方・工夫・精選 ・ 子ども達からマイナスの意見が多かった。 ・ 中心発問は「どうしてネパールではつらいことが多かったのに、満足しているのか。」の方が良かったのでは。 ③ 資料の工夫・精選 ・ 掲示資料がもう少しあると内容が入りやすい ④ ワークシートの内容 ・ どういったことを書かせたかったのか。(教師側の意図)	○ 要所要所に子どもたちの質問を入れるとどうか。 ○ 2時間設定もありかも。 (導入) ○ 外部人材を身近にする。 ○ 児童がやり遂げるに至ってない事実から入る方法も有り？ (展開) ○ インタビュー映像を見せてから考えさせる。 ○ 児童が考える時間の確保・話し合いによる深め合い ○ 児童にずっと入る言葉選び・話す内容の焦点化 ○ 北川さんが自己実現でき、笑顔あふれる様子を大切にする。 (終末) ○ 最後の説話に重きを置く。 ○ 学んだことからの感想を入れる。 ○ 毎時間の自己評価 自分とは違う多様な考えに触れて、それをもとに これからの自分を見つめられたらいい。「自分のやればできる!」という価値で終わる。 ○ 児童の意欲を盛り立てる発問 ○ 中心発問から授業を組み立てていく。 ○ 前向きな児童の意見が出る発問に ○ 児童がねらいに向かっていくための揺さぶり(価値観の対立)が必要。 ○ 人生曲線に「大学入学」などの見出しを入れる。 ○ 人生曲線も「これはなんだろうね」というような出し方も有りかも？ ○ 視覚的資料の活用(プレゼン・写真や絵など) ○ 考えさせたいポイントを絞ったワークシート ○ 授業を受け、「これからどうしていくか。」という内容を増やす。
(3) 事後 ① 事後指導へのつなぎ ・ これからどうつなげていくか。 ・ 1時間で終わらせるのはもったいない。	○ 道徳的価値の継続化・実践の場・称賛(日常指導) ○ もう一度来ていただくこと ○ その後の児童の様子を見届ける
(4) その他 ① 聞き手を意識した話し方・内容 ② 教科の枠を外した外部人材の活用	○ 話を聞く時のポイントを明確にする。 ○ 授業の事前・事後に「ネパール週間」を設定する。 ○ 年間計画の見直しの必要性

2 授業者の気付きや学び

普段は読み物資料の中に出てくる登場人物に気持ちを投影させて自分自身を振り返るが、今回のように目の前の人実際に体験したことを聞くことができ、児童にとって、北川さんの話は新鮮で興味・関心をひくものとなった。北川さんが授業中に使われた言葉が児童の感想の中にも多く出てきており、今回の授業のねらいを達成できたように思う。北川さんとの出会いに感謝したい。